

特集 1 / こう変わる！あなたの個人住民税(町・県民税)
特集 2 / これからの医療保険を維持する後期高齢者医療制度
町政スポット / 朝食レシピコンクール表彰式 戸籍事務の電算化
海外で朝日町産りんごをPR ほか
まちの話題 / 読書おしゃべりサロン 和合小跡地利用ワークショップ
賀詞贈呈 村山地域男女共同参画地域講座 ほか

じょうずにさせるかな？

だんご木まつり
(1月25日；大谷小学校)

広報

あさひまち

2007年2月号

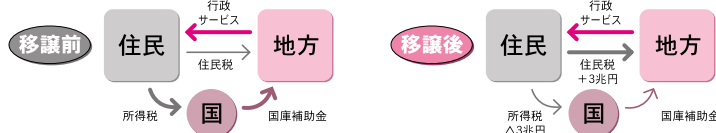
No. 603

朝日町は朝ごはんを食べよう運動を推進します。

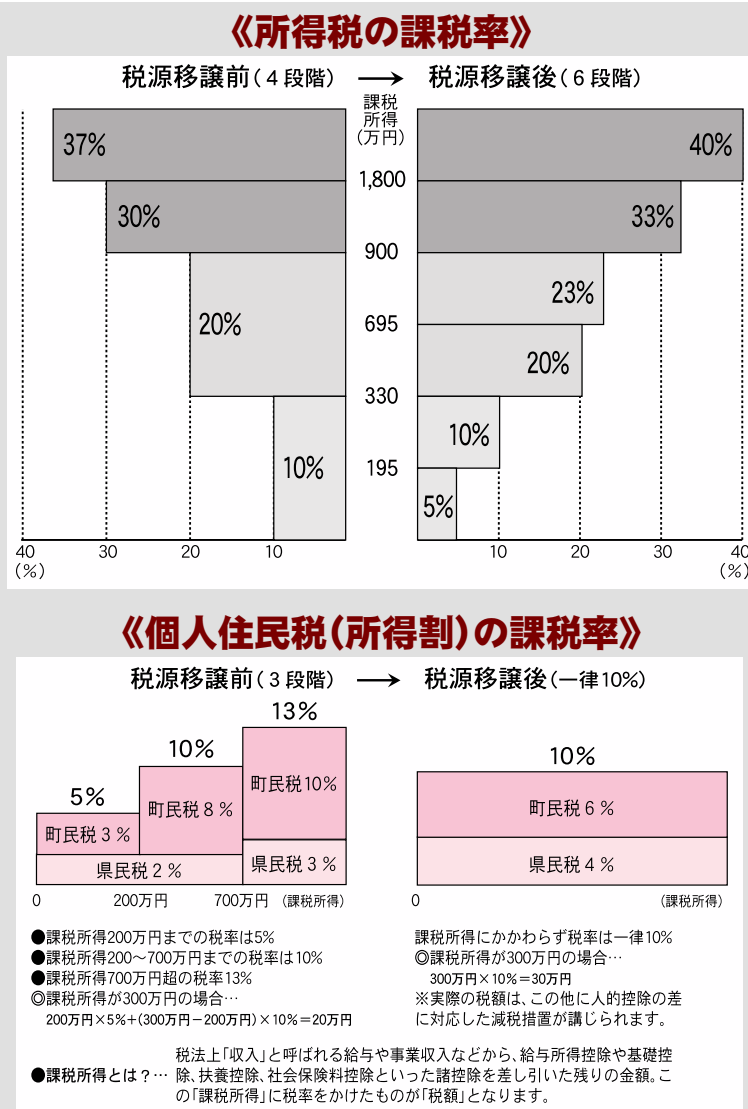
国から地方へ3兆円の税源移譲

個人住民税(地方税)増額+所得税(国税)減額=増税0

(図1) 税源移譲のイメージ



(図2) 所得税及び個人住民税の税源移譲前後における課税率比較



《所得税+個人住民税(所得割)》
税源移譲前の税額=税源移譲後の税額

税源移譲とは、補助金に代わる地方自治体の新たな財源として、国が集める税金(国税)のうちの一定の部分を、市区町村にあたる地方が地

方税として集められるようにすることで。つまり、国税の一部を減らし地方税を増やすことですが、基本的に納税者の負担が増えることはあ

所得税(国税)と個人住民税(町県民税)の税率は変わりますが、所得税+個人住民税の負担額は基本的に変わりません。

りません(図3参照)。現在の地方自治体は、国から補助金や地方交付税などを受けて、行政サービスの財源を補っています。原則として、この補助金の削減に見合う額を、国から地方への税源移譲で補うことにしているのが「三位一体

(図3) 税源移譲による負担変動(年額)

給与収入	税源移譲前(単位:円)			税源移譲後(単位:円)			負担増減額
	所得税	個人住民税	計	所得税	個人住民税	計	
300万円	124,000	64,500	188,500	62,000	126,500	188,500	0円
500万円	258,000	163,000	421,000	160,500	260,500	421,000	0円
700万円	474,000	307,000	781,000	376,500	404,500	781,000	0円

給与収入	税源移譲前(単位:円)			税源移譲後(単位:円)			負担増減額
	所得税	個人住民税	計	所得税	個人住民税	計	
300万円	0	9,000	9,000	0	9,000	9,000	0円
500万円	119,000	76,000	195,000	59,500	135,500	195,000	0円
700万円	263,000	196,000	459,000	165,500	293,500	459,000	0円

※1 夫婦+子ども2人の場合、子どものうち1人が特定扶養親族に該当するものとして計算しています。
 ※2 一定の社会保険料が控除されるものとして計算しています。
 ※3 個人住民税には、均等割は含まれていません。
 ※4 税源移譲前の所得税及び個人住民税は、定率減税額(H18年度まで)を差し引く前の金額となっています。



の改革」の一環です。
●どうして変わるの?..

地方自治体が自主性や自発性を発揮し、より身近な行政サービスを行えるように進められてきたのが「三位一体の改革」です。使い道が制約されている国からの補助金を減らす代わりに、住民にとって真に必要な行政サービスを自らの責任で効率的に行えるよう、平成18年度の税制改正で、国の所得税の一部(3兆円規模)を地方の個人住民税へ移すことになりました(右頁図1参照)。

●どう変わるの?
所得税の税率構造が、4段階(10

所得税と個人住民税の納付方法の違いで税源移譲の影響が出る時期にズレがあります。

例えば、サラリーマンのように毎

給与所得者	今年1月～	所得税	減
	今年6月～	住民税	増
事業所得者	今年6月～	住民税	増
	翌年3月の確定申告～	所得税	減
年金受給者	今年2月～	所得税	減
	今年6月～	住民税	増

%・20%・30%・37%)から6段階(5%・10%・20%・23%・33%・40%)に細分化されるほか、個人住民税所得割の税率は、従来の3段階(5%・10%・13%)から一律10%に変わります(右頁図2参照)。

しかし、個人住民税の税率が引上げられても、その分、所得税の税率が引き下げられますので、所得税と個人住民税を合わせた負担額は、これまでと変わりません。

ただし、景気回復のため国策としてとられてきた定率減税措置の廃止、また、個人の収入の増減などにより、実際の税負担額は増減します。

月の給料から税金を天引きされている方については、所得税の減少は平成19年1月の給料から、個人住民税の増加は平成19年6月の給料から、それぞれ実施されますので、税源移譲の影響として税負担の減少が先行します。

一方、事業をされている方については、個人住民税の増加は平成19年6月から、所得税の減少は平成20年3月の確定申告から、それぞれ実施されますので、税源移譲の影響として税負担の増加が先行します。

税源移譲が行われる平成19年度は、他の税制改正等により税の負担額が増えます。

●定率減税措置の廃止

(図4) 定率減税の廃止



定率減税は、平成11年度から実施されてきたもので、税額から一定の額を控除する暫定的な軽減措置(図4参照)です。

平成18年度の国の税制改正により、所得税分として平成19年1月分から、住民税分として同年6月分から、この定率減税が廃止

されますので、その分税負担額は前年に比較し増加します。

●やまがた緑環境税(県税)の新設

山形県は、みんなが安心して暮らせるみどり豊かな「やまがた」のために、県民みんなで支える新たな森づくりに取り組みます。

森林からの受益は、安全で快適な県民の生活に広く行き渡るため、県民みんなに広く負担をいたいただくもので、個人県民税均等割へ年1千円が、法人県民税均等割へその10%に当たる額(年2千円〜8万円)がそれぞれ追加課税されます。

平成19年度分の個人住民税の税額を試算できるホームページもご参照ください。

全国地方税務協議会
<http://www.zenzei.kyo.jp/>

問 税務町民課町民税係

☎ 67-2107

やまがた緑環境税(県税)

実施時期	平成19年4月1日から
税 率	個人住民税均等割…年額4,000円を5,000円(1,000円上乗せ) ※老年者非課税措置の廃止に伴う減額を受けている方については、平成19年度分は600円を上乗せ。平成20年度以降1,000円を上乗せする。

税のマメ知識

住民税について

住民税には、均等の額によって負担する「均等割」と、その人の所得金額に応じて負担する「所得割」があり、

通常、県税である県民税と町税である町民税を合わせて住民税と呼びます。所得税が一年間の所得に対してその年に課税されるのに対し、住民税の所得割は前年の所得に対して課税されます。

特集2 ●これからの医療保険を維持する後期高齢者医療制度



町高齢者福祉大会の様子（2月9日／農業団地センター）

特別地方公共団体「山形県後期高齢者医療広域連合」 山形県内35全市町村が加入し2月1日設立

高齢化の進展に伴い、図1から分かるように、朝日町の老人一人当たりの医療費が近年増大しています。このような状況下で、将来にわたり医療保険制度を健全に維持していくためには、運営区域を市町村単位から県単位に広域化し、財政の安定化を図っていく必要があります。

当町では、老保会計（Ⅱ老人保健特別会計）に対する一般会計からの繰出金が、毎年1億円（平成18年度当初予算額で1億1千万円）を超えており、町単独による老保会計運営

は非常に厳しい状況にあります。

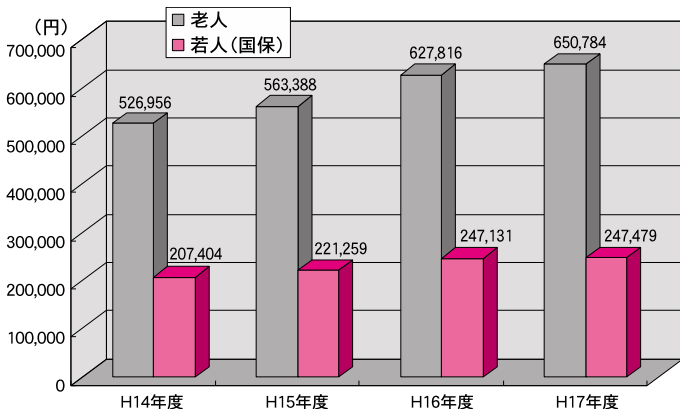
しかし、それは朝日町に限ったことではなく、地方自治体が共通して抱えている課題。このようなことから、高齢者医療費は、都道府県の区域ごとに広域化した市町村が、協力し合い支え合うことが検討されてきました。

平成18年6月の通常国会において「医療制度改革関連法」が成立しました。現行の「老人保健法」に基づき各市町村が給付を行っている老人医療を、平成20年4月から新たな高

齢者医療制度「後期高齢者医療制度」に移行することになります。

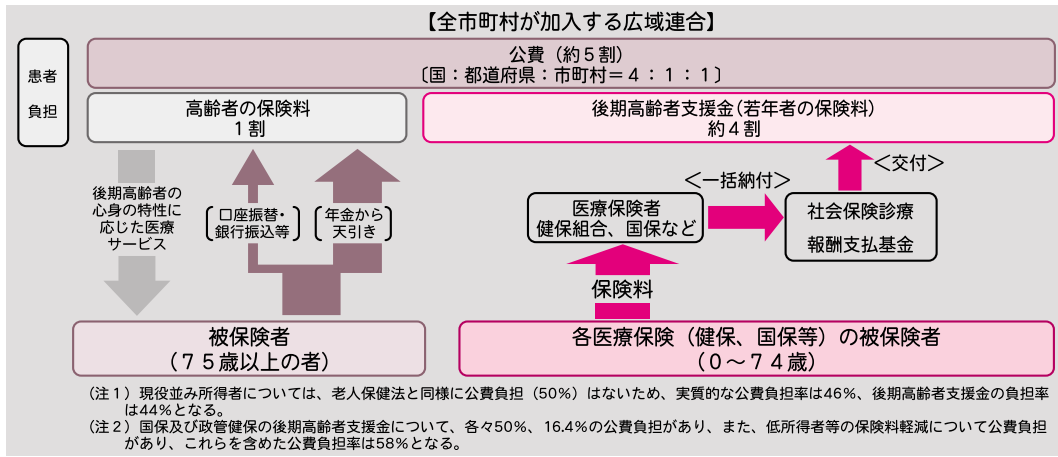
後期高齢者医療制度は、75歳以上の後期高齢者を対象に、財源等独立した医療制度を創設するもので、制度を運用していくためには、平成18年度末日までに、都道府県の区域ごとに全市町村が加入する広域連合を設置しなければならず、法律で規定されました。

山形県においては、昨年8月1日に県内全ての市町村長で組織する「山形県後期高齢者医療広域連合設立準備委員会」が設置され、10月30日の同総会において「山形県後期高齢者医療広域連合規約」が決定され

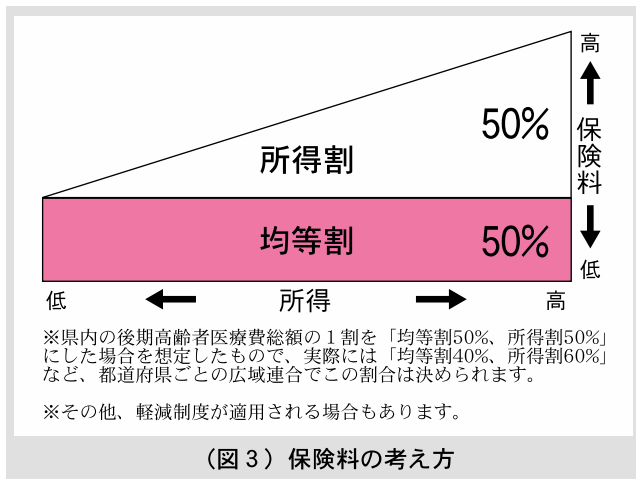


（図1）朝日町の医療費動向（一人当たり年平均）

ました。また、広域連合に加入する
県内各市町村においては、12月議会
でその規約を議決し、年度内の広域
連合設立をめざすため今年1月、県
知事宛に設立許可を申請。2月1日
の正式許可を受け「山形県後期高齢
者医療広域連合」が設立されました。



（図2）県内全市町村が加入する広域連合の財源構成



**後期高齢者医療費総額の1割を後期高齢者が新たに負担
県民みんなで支え合う高齢者医療費**

当町でも先の12月議会において、
広域連合の設立についての規約を提
案させていただき、審議の結果、賛
成多数で可決されたところです。

**● 現行の老人医療制度と新たな後
期高齢者医療制度の相違点**

- ① これまで各市町村単位だった運営主体が、県内全市町村加入の広域連合（特別地方公共団体）へ移行され、独立した医療制度となります。
- ② 国民健康保険世帯においては、世帯主が保険税を納付していますが、後期高齢者医療制度では、75歳以上の高齢者全員が保険財源の一部を、一律に負担することになります。
- ③ 現行の老人医療制度における財源構成は、国民健康保険や社会保険、各種共済組合などの各保険者からの拠出金（＝高齢者自身が加入し負担している保険者からの拠出金）5割と公費（国・県・市町村）5割ですが、後期高齢者医療制度における財源構成は、各保険者からの拠出金（＝若年層の保険料＝現役世代からの支援金）約4割、公費約5割、そして後期高齢者が負担する保険料1割

割となります（図2参照）。
山形県における当該保険料は、県内の医療費総額を推計した上で、今後、広域連合の総会において決定されます（図3参照）。

高齢化の進展に伴い、老人医療費が増大している状況にあり、将来の安定した医療制度を維持するためには、広域化による独立した財政運営が必要不可欠です。保険料徴収や窓口受付等は、現行と同じように町で行われますので、町民の皆様のご理解をお願いいたします。

問 健康福祉課保険給付係
☎ 6712116

医療費を抑える事業も展開中

■ 国民健康保険健康づくり事業 204万円

町民みんなが健康で生きがいのある生活を送れるように、また、高齢者が積極的に社会参加できるように、各地区あるいは各集落ごとに健康保持に着目したレクリエーション活動などを推進するため助成を行っている事業。



■ その他の主な事業

- † 健康診断事業 500万円
- † ぴんしゃん教室 226万円
- † からだすっきりセミナー 349万円
- † 料理教室 6万円
- † 元気クラブ活動推進への助成 300万円

これらの事業の積極的な展開で、大きな疾病を未然に防ぐことや介護予防にもつながるほか、高齢者世代を迎えても医療機関に掛かることなく、健康で明るい老後を送っていただくことができるようになります。

※なお、上記金額は、各事業における平成18年度の当初予算額です。

朝食レシピコンクール表彰式（1月28日／創遊館ホール）

『朝ごはんを食べよう運動』を推進している朝日町。この運動の啓発を図る目的で実施していた朝食レシピ

コンクールの表彰式が1月28日、創遊館ホールで開催されました。

小林道和町校長会長を審査委員長とする5人の審査員が、昨年末に審査をしたもので、その結果については広報あさひまち1



子どもの部最優秀賞の遠藤さん(右)



大人の部最優秀賞の志藤さん

月号でも紹介しています。子どもの部で最優秀賞の遠藤由唯さん（大谷小6年）根菜のあったかトマトスープ）と、大人の部で最優秀賞の志藤一枝さん（川通オム納豆ライス）ら、それぞれの部門で入賞した9人に、鈴木町長から賞状と記念品が贈られました。この2作品の詳しいレシピは、町のホームページでもご覧いただけます。

戸籍事務の電算化始まる（2月5日／役場）

戸籍事務の電算化がこのほど完成したのを受け、戸籍総合システム始動式が2月5日、役場で行われました。県内では12番目、寒河江西村山管内では初めてのシステム導入となります。

町では、平成18年3月にシステムの導入を決定し、これまでに情報をデータベース化するなどの準備作業を

行ってきました。

コンピュータによる操作で、戸籍等の証明発行が5分から1分に短縮するなど、戸籍窓口の事務処理が大幅にスピードアップされました。戸籍事務の迅速化と効率化が図られるので、お待たせすることなく各種証明等を発行することができるようになりました。



システム導入を祝うテープカット

スクールバスを購入（1月24日）

朝日中学校スクールバス「あさひ2号」の納車式が1月24日、創遊館前で行われました。

旧車両の老朽化に伴う更新で、購入価格は1155万円。45人乗りの低硫黄軽油専用車両で、排ガス規制に則した地球にやさしいエンジンを搭載しているのが特徴です。また、総合交通体系の見直しにより、日中は町民バスにも利用できるよう運賃箱や乗降ブザー、回転式の行き先表示板などが設置されています。町民バスとして正式に利用されるのは4月1日からになります。早急この日の下校時から中学生の利用が始まりました。



町内公共施設にAED設置

町内の公共施設4カ所（創遊館・西部公民館・秋葉山交遊館・朝日自然館）にAED（自動体外式除細動器）が設置されました。

このAEDは、傷病者に装着すると自動的に心電図を解析し、必要に応じて心臓に電気ショックを起こすことができる装置。操作方法など全て音声で指示が出される優れたものです。



創遊館に設置されたAED

心肺停止の人の一命を救うために、そういった事態に出くわした誰もが即座に操作できるようにと今回、町民の出入りの多い公共施設に設置されました。



海外で朝日町産りんごをPR (1月19〜20日/台湾台北市)

「日本一の蜜入り無袋ふじりんごを、消費量が増加傾向にある台湾市場でPRしたい!」。町のトップセールスマンとして鈴木町長が、



台湾の高級百貨店で朝日町産りんごをPRする鈴木町長

1月19日から2日間の日程で現地入りし、高級百貨店の太平洋SOGOの店頭で、現地の消費者に直接朝日町産りんごをPRしました。

高級感をイメージさせるためのブランド化を図った朝日町産りんごを、同百貨店が旧正月用の高級贈答品として販売戦略に据え、地元消費者らにアピールする今回の企画。この企画に町長ほか町の担当者、生産者代表、さがえ西村山農業協同組合の担当者の合わせて4人が参加し、活気ある現地の市場を直に体

感してきましました。

国内における消費量の落ち込みで、新規市場の開拓と生産農家の所得向上が望まれていたことから、市場に出回る量の9割に当たる約12万トン

を海外から輸入している台湾市場に着目し、朝日町がりんご輸出を始めたのは平成16年11月。現地の消費者たちからは、高い評価を得ています。現に「蜜入りも良く、甘くておいしい」と好評で、店頭に並べられた商品は飛ぶように売れていました。



時代を創る

今年の冬の挨拶は、どこへ行っても「雪が少ないですね」ではじまりました。雪が少ないと良いのか悪いのかは、一年を通してみないと何とも言えないところがあります。農作物への影響はどうだろう。環境、自然、そして災害への影響はどうだろう。様々な観点から、すでに議論さ

れています。

常と異なる事態に直面した時、往々にして人間は最悪の事態を想定するものです。そうなった時の影響を考慮し、そしてそうならないようにするには、どのような対策を講ずるべきか検討し実行する。こうした姿勢・取り組みが、「人間が人間である所」の行動であろうと思います。人間は運命に対し、何時も従順な

現在進行形 平成のRINGO PJ vol.10

棚田レストラン構想を視野に

町に古くからある料理と新しい素材であるダチョウや果物を題材にした、第2期生の食品加工研修。山形中央ッキングスクールの古田久子先生を講師に、研修のテーマは「朝日町の棚田レストラン構想」です。

●棚田レストランの献立案

- ・汁物(棚田旨汁)
- ・飯(こんにやく棚田飯)
- ・漬物(郷土漬)
- ・水果(りんご)
- ・八寸(菊こはく寄)
- ・小鉢(ずんだ和え)
- ・煮物(あけび煮・ひょう干煮)
- ・生代わり(生こんにやく)
- ・焼物(溪流魚塩焼・駝鳥焼)
- ・蒸物(りんご卵蒸)
- ・箸休め(とりわさ)



古田先生からの提案です。これらの加工技術とともに、盛り付けや衛生面について研修しています。受講生の一人は、「今まで働き詰めで生活していた団塊の世代の方や年配の方が、五百川峡谷や樺平の棚田など豊かな自然を背景に朝日町の郷土料理を食し、また元気を出せるようなものを提供できれば…」と語っています。

ものとは限りません。むしろ人間は

自らの手で運命を切り開いていくものです。流れに流されることなく、自らの意志をしっかりと持ち、時代の潮流に果敢に挑戦していく。そういう姿勢が時代を築く大きな原点であり、それがその時代の流れなのです。時代の流れとは、どこからか降って湧いてくるように思いますが、決してそんなことはありません。人

間が人間の手で自らつくっているものなのです。悲観したり、あきらめたり、臆病になることはないのです。

自分たちの手で、自らの町をつくっていくんだ。その思いが、町の将来を形づくっていくのです。

今年も町民の皆さんとともに、時代の潮流に果敢に挑戦していきます。

朝日町長 鈴木浩幸



異文化交流 餃子づくり
(2月8日/さゆり保育園)

まちの話題



高齢者世帯等防火診断訪問
(2月5日/町内全域)

①読書おしゃべりサロン「姉崎一馬氏を囲んで〜」(1月27日/創遊館)



自然の良さを伝えたくて

「森のいのちたちのかがやき」をテーマにした読書おしゃべりサロンが1月27日、創遊館で開催されました。全国の森林をフィールドに活躍している写真家であり、自然教室「わらだやしき」を主宰する姉崎一馬氏(立木)を迎えてのトークショーで、特に子どもたちに読書への興味や関心を抱いてもらうために、図書館事業として町が初めて主催したものです。町民ら約40人が参加しました。

昨年、『森はオペラ』と『はっばじゃないよぼくがいる』の2冊の写真絵本を出版した姉崎氏。

最初に、これまで撮影した写真やわらだやしきでの自然体験プログラムなどの様子をスライドで紹介。子どもたちに自然の良さを伝えるには観察感を養うことの必要性や、絵本出版に至るまでの経緯などを語りました。

「いろんなパートで命のうたを歌い上げている森の空間。世界に誇れる日本の森へ足を運んでもらうきっかけになれば…」というのが『森はオペラ』。「一見葉っぱにはしか見えないものでも、よく見ると顔の表情が浮かんで見える。自然の見方の世界が広がれば…」というのが『はっばじゃないよ〜』。創遊館の図書館にもありますので、ぜひ一度ご覧ください。



写真絵本を手に語る姉崎氏

②和合小学校跡地利用ワークショップ(1月21日/和合公民館)



継続させたい 和合の魅力

平成20年3月に閉校する和合小学校の跡地利用について考えるワークショップが、1月21日和合

公民館で開催され、区民ら38人が参加しました。

まずは現場を知るため校舎の内外を直接見て回った前回のワークショップを受けて、今回は同地区の地理的中心にある「学校の地域としての位置づけ」をはっきりさせる目的で、▽学校を場とした地域活動▽学校が地域に果たしていること▽和合にしかない魅力などについて、区民の声を引き出す内容となりました。

「学校があったからこそこれまでやってこられた『和合太鼓』や『巫女の舞』。閉校後も和合にしかないこれらの魅力を衰退させないために、地域活性化の拠点となる何かが必要なのは…」などという声が聞かれました。

③ 賀詞贈呈 (1月12日 / 町内)



長寿者・米寿者 72人を祝福

町内に在住する長寿者(100歳以上)5人と米寿者(88歳)67人に、長寿を祝福し町から賀詞と記念品が贈られました。

中でも、夫婦そろってめでたく米寿を迎えられた鈴木忠・きつゑさん(雪谷)を訪問した鈴木町長。「元気でなによりです」と優しく声をかけると、「毎日の軽い農作業と夫婦仲良くやっていくこと」と元気でいられる秘訣を笑顔で話してくれました。

なお、長寿者及び米寿を迎えられた方は次のとおりです。

▼長寿者(100歳以上) 男1人 女4人 計5人
樋口はるみ(四ノ沢)、菅井よつ(沼向)、佐竹ひて(夏草)、鈴木まつの(松程)、白田常松(大谷六) 《順不同・敬称略》

▼米寿者(88歳)【大正9年1月1日から同年12月31日までに生まれた方】 男24人 女43人 計67人
村山六郎(本町)、笹原文一(西町)、花山長治郎・佐藤あき・長岡ツユ(以上栄町)、布施はるよ・阿部力夫・鈴木信一・鈴木くに・菅原功(以上助ノ巻)、佐藤政雄・今井義一・鈴木清次郎・鈴木千代子・長岡サキエ(以上大町)、成原せつ・阿部記一・成原りゑ(以上前田沢)、熊谷武四(新宿)、石塚たかの・鈴木米・長岡定一郎・鈴木伊佐子・今井光(以上四ノ沢)、佐藤哲夫(宿)、菅井まさ(沼向)、菅井康治(大隅)、渡邊のゑ(古槇)、相座いちの(送橋)、大滝敬一(下芦沢)、高橋勇助(水本)、齋藤さだよ(杉山)、長岡はなゑ(宇津野)、鈴木忠・鈴木きつゑ(以上雪谷)

長岡きゑ・阿部つねよ・鈴木たかゑ・長岡はる江(以上常盤)、阿部トク・大高たけ・鈴木正子(以上夏草)、峯田はなよ(西船渡)、今野きよ(八ツ沼)、伊淵豊(高田)、長岡なみゑ・長岡はな(以上太郎二)、長岡ミわ(太郎三)、阿部まさゑ(白倉)、佐竹勝子・阿部マサ子・阿部このゑ(以上松程)

鈴木おさき・榊伏雄(以上大谷二)、白田ヨシコ(大谷三)、榊みつゑ・渡邊仁蔵・今田敏子・今井スミエ・長岡モ、キ・長岡つる(以上大谷四)、鈴木泰磨・五十嵐豊田(以上中沢)、阿部まさよ(栗木沢)、長岡幸子・阿部廣治・鈴木長十郎(以上大暮山) 《順不同・敬称略》

④ 村山地域男女共同参画地域講座(1月8日 / 創遊館)

心を広くお互いを認め合う

村山地域男女共同参画地域講座が1月8日、創遊館ホールで開催されました。

「ココロの元気で明日にチャレンジ!!」と題し講演したのは、(有)志縁塾(東京都)の代表取締役で地域活性プロデューサーの大谷由里子氏。以前、吉本興業(株)のプロデューサーだった大谷氏は、故横山やすしさんや宮川大助・花子さんのマネージャーを務めていました。



大谷氏は、「人間の命なんていつ果てるか分からない。それゆえに、誰かがいつかしてくれるだろうという姿勢ではなく、思いついたことは自らやってみようとする心構えが大切。人生の長さは神様が与えてくれるものだが、人生の幅は自分で作れるもの」と述べ、「巣を張って獲物を待つだけのクモ型や、ただ食べるだけのアリ型ではなく、人間は得たものを加工できるミツバチ型でなければいけない」と、会場の笑いを誘いながらもパワー溢れる口調で語りかけていました。

また、男女共同参画という観点からは、「男女間には本質的な違いがあって当たり前。心を広く持つことでお互いにそれを理解することができ、もめることもなくなります」と、お互いを認め合うことの大切さを強調していました。

⑥海の子山の子交流 山のつどい (2月3日／朝日自然観・西部公民館)



思い切り雪の中に飛び込む小学生たち

初めての雪の朝日町を訪れる

毎年、宮城県七ヶ浜町の小学生と相互交流している朝日町。昨年の夏、朝日っ子たちが七ヶ浜町を訪れたのに続き、今回は、その時交流を持った七ヶ浜町立松ヶ浜小学校の児童と保護者ら33人が当町を訪れました（当町からの参加者は40人）。

「こんなに積もった雪は見たことない！」と、雪の中で大はしゃぎの七ヶ浜っ子たち。ゴムチューブ滑りや雪中宝探し、アイスクリームづくりなどを体験し、朝日っ子たちと楽しく交流しました。

⑤尚綱短期大学保育科合宿 (1月26～28日／朝日自然観)

自然観を貸し切り創作ダンス

尚綱短期大学（仙台市）保育科音楽コースの学生62人が、ホテル自然観全室を貸切にし合宿を行いました。来る2月22日に市内の会場で開催する卒業演奏会で、思い出に残る曲にコーラスとパフォーマンスを加えた創作ダンスを披露するため、その大枠を仕上げる目的で毎年この時期に実施しているもの。合宿招致を望んでいた町の声に今回初めて応えていただいた形になりました。

「全体像が見えるようになるまで、この3日間が勝負です」と語ってくれたのは同科長の佐藤淳一さん。学生の亀山麻梨絵さん（2年）は、「合宿するにはとてもいい感じの施設です。演奏会本番に向けて、この3日間は踊り込むしかありません！」と息を弾ませながら、語ってくれました。



⑦青少年指導センター研修会(1月17日／創遊館)



サイバー犯罪の実態を知る

インターネットや携帯電話を使った犯罪や被害が全国的に問題となっている今日、特に青少年を

めぐる犯罪の実態と防止策について学ぶ研修会が1月17日、創遊館で開催されました。町青少年指導センター（佐藤正道会長）が主催したもので、青少年行政に就く関係者ら約40人が参加しました。

出会い系サイトなど県内における具体的な犯罪動向について語ったのは、県警察本部生活環境課サイバー犯罪対策室課長補佐の小野宣雄さん。小野さんは、「便利で日常生活に不可欠な携帯電話だが、その反面で凶器にもなりうる代物。持つ者、持たせる者の責任と自覚が求められている。少なくとも、中学生に携帯電話は必要ない！」と語り、メディア社会に参画し主体的に生きていく力を養う必要性を強調しました。

インターネットや携帯電話を使った犯罪や被害が全国的に問題となっている今日、特に青少年を

関係者ら約60人が参列した新春商売繁盛祈願祭が1月11日、開発センターホールで開催されました。町商工会（佐藤俊實会長）が主催し、毎年この時期に開催しているもの。

福を呼ぶホラ貝の音で始まった神事では、出羽三山神社の山伏によるご祈祷の後、佐藤会長ら各界を代表する8人が神前に玉串を捧げ、今年の商売繁盛や交通安全を祈願しました。

佐藤会長は、「好景気が期待された昨年だが、実感には至らない一年だった。今年もは今年。みなさんが年頭において念じられた目標に向かいまい進していきましよう」と語っていました。



神前に手を合わせる佐藤会長(右)

福を呼ぶホラ貝の音響く
新春商売繁盛祈願祭

⑧国民健康保険健康づくり事業 婦人若妻合同学習会(1月28日/創遊館)

笑うことでストレス解消

医師でもあり落語家の立川らく朝氏による講演会が1月28日、創遊館ホールで開催されました。主に町内の女性を対象とした婦人若妻合同学習会で、国民健康保険健康づくり事業として開催。会場に詰めかけた町民約330人が、健康落語を楽しみました。健康落語は、立川氏自身が開拓した新しいジャンルの落語です。

『笑って健康・笑っていきいき』という演題で講演した立川氏は、「一時的だった昔のストレスに比べ、現代のストレスは一日中続いているのが特徴」と語った上で、「内臓や血管などの働きをコントロールしている自律神経には、交感神経

(起きている時の神経・緊張時の神経)と副交感神経(寝ている時の神経・リラックス時の神経)があり、この二つは、互いに相反する働きをしている。ストレスなどによりそのバランスが崩れると、癌や糖尿病、動脈硬化など様々な疾病が生じる。ストレス解消には笑うことが一番」と、日々の緊張状態から解放されるために笑う(=無の状態になる)ことの必要性を強調しました。

また、古典落語も披露され、会場は笑いの渦に包まれていました。



落語家の立川らく朝氏

⑩だんご木まつり

(1月25日/大谷小学校)

心を育てる伝統行事

大谷小学校の1,2年生31人が、菊地徳一さん(栗木沢)らおじいちゃんおばあちゃんたち14人から1月25日、伝統行事であるだんご木まつりについて学びました。養蚕業が盛んだった当時、蚕の繭がたくさん採れるように、また、米や豆などの穀類がたくさん採れるようにと、五穀豊穰を願ったのが始まりとされるこのまつり。赤、白、黄、緑の丸いだんごづくりはおばあちゃんたちから、木に刺すのはおじいちゃんたちからそれぞれ教わりました。

毎年使えるようにと、専用の支柱を寄贈したのは白田昭吉さん(大谷三)。色とりどりのだんごに飾られた木には、児童の願いを込めた短冊も下げられました。



⑨文芸講座

(1月31日~/創遊館)

随筆や自分史を書く

大正から昭和にかけて発刊された西五百川青年団誌「旭華」や昭和中期に発刊された「かすばみ」が示しているように、当町には昔から文芸活動が盛んに行なわれ楽しむ文化がありました。2年前に開催された文芸シンポジウムでも、そのことが再確認されたところ。その文化を改めて復興させ、書くことの楽しさを再度みんなから知ってもらおうと、1月31日から3回にわたる文芸講座が創遊館で始まり、町民12人が受講しました。

「自分が生きてきたことを整理する意味で、自分史を書くことはとても良いこと」と語り講師を務めたのは、戦争を語り継ぐ手記『遙かなる日のつどい』の編集者、八島信雄さん(山形市)。



東北電力(株)山形技術センター(山形市)の所員が1月12日、上郷ダムに飛来している白鳥に毎日餌付けをしている齋藤長吉さん(大滝)宅を訪れ、餌用のパンの耳(10キログラム×18袋)と寄付金1万円を贈りました。平成2年から毎年継続して行われているもので、今回が18回目の善意。

「約120人が勤務する同センター内全社員に善意を呼びかけたところ、昨年とほぼ同額の寄付金が集まりました」と笑顔で語ったのは、同センター土木課主任の草野利夫さんです。



白鳥の餌と寄付金を受け取る齋藤さん(右)

社員の善意が続き18年
東北電力(株)から白鳥の餌

みんなのひろば



この町からオリンピック代表選手を

相馬 準さん(山形市)

今輝いて

このほど朝日自然観スノーパークでJSBA(日本スノーボード協会)が公認する朝日自然観カップハーフパイプ大会が開催され、ビギナーからトップアマに至るまで数多くの選手たちが、東北最大級を誇るハーフパイプに果敢な挑戦を繰り広げました。プロシリーズ戦を兼ねて開催された昨シーズンはもとより、自然観へのパイプ(当時はクオータパイプ)導入に向けた当初から携わっているのが、山形市内でスノーボードショップを営む相馬準さん。

近隣の同施設における相馬さんの実績を見込んだ自然観によるオフアールから8年。その間、ストリートジャンプやスロープスタイルなどの大きな競技会を、相馬さんが中心となってプロデュースしてきました。

「このパイプは国内でも有数の施設。昨シーズンはPSA(プロスノーボード協会)

もベスト3にランク付けした、近隣にはない立派な施設。町の宝と言ってもいい」と熱く語る相馬さん。ナショナルチームのキャンプ地として有名な北海道の留寿都にも匹敵する施設で、「パイプ隣に敷設してあるリフトから3D感覚で見下ろせ、滑走のイメージが描ける」と選手たちからも評判。それを聞きつけてか、遠くは広島県や外人などの参加もあった今大会。あわよくばキャンプ地誘致なども視野に入れています。

「ハーフパイプに対する町の姿勢に感謝します。今後は、大人から子どもたちまでが楽しめるイベントを開催し、地元のボーダー養成に取り組んでみたいですね。近い将来、この町からオリンピック代表選手を…」と目を輝かせる相馬さんです。



自然観杯HP大会の様子(2月4日)

各種大会の成績

(○内数字は順位)

■第13回朝日町剣道選手権大会

【1月27日/大谷小学校体育館/参加者数21人】

①大井次郎(本町) ②白田明(大谷四) ③鈴木聡(本町) ③鈴木拓郎(本町)

■第43回朝日町民卓球まつり

【2月4日/町民体育館/参加者数120人】

【団体】①送橋(清野信博監督) ②西船渡(鈴木敬一監督) ③スポーツ少親子A(斉藤利彦監督)

【個人】▽小学男子S(=シングルス) ①村山伸樹(常盤) ②五十公野泰弘(西町) ③斉藤一馬(夏草) 阿部航瑠(常盤) ▽小学女子

S ①阿部愛美(常盤) ②阿部春姫(常盤) ③鈴木遥子(松程) 阿部果歩(常盤) ▽中学男子S ①阿部友樹(常盤) ②鈴木聖也(宿) ③阿部良輝(八ツ沼) 館山遼馬(松原) ▽中学女子S ①阿部智恵(常盤) ②村山奈津美(常盤) ③富樫真実(大町) 白田栞奈(大谷三) ▽オープンダブルス公式 ①清野友麻子(送橋) 清野友理子(送橋) 組 ②菊地育心(アサヒニクニ) 遠藤寛士(舟渡) 組 ③鈴木晃生(宿) 遠藤幹士(舟渡) 組・若月祐一郎(西船渡) 海野郁己(西船渡) 組 ▽オープンダブルスラージ ①鈴木正徳(助ノ巻) 布施昭信(助ノ巻) 組 ②五十公野龍二(西町) 斉藤利彦(夏草) 組 ③志藤克美(前田沢) 長岡好(前田沢) 組・鈴木敬一

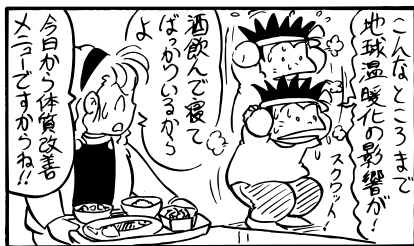
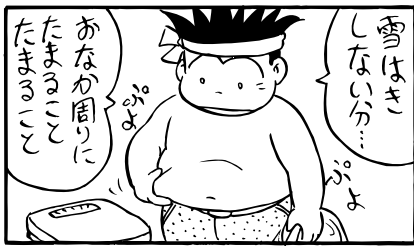
(西船渡) 宮本千代子(西船渡) 組

■G2朝日自然観カップハーフパイプ大会【2月4日/朝日自然観スノーパーク/参加者数45人】

《パイプサイズ=全長100m/全幅18m/全高3.5m/斜度16度/トランジション4m/パーティカル0.3m/プラットフォーム幅2m》

▽ビギナー男子 ①平賀俊伸(宮城) ②金子潤一(高島町) ③井上裕大(宮城) ▽同女子 ①矢田目薫(宮城) ②小林千絵(宮城) ③早川康子(宮城)

▽一般男子 ①油井正浩(宮城) ②伊藤直貴(岩手) ③大湊和之(新潟) ▽同女子 ①中村美木(福島) ②水谷和子(宮城) ③吉田文恵(宮城)



西原
峯田
葉子 猛さん
さん

同じ職場で知り合ったお二人。年齢が近いこともあり、よく二人で食事をしに行っているうちに、お互いを意識しあうようになり、自然とお付き合いが始まったそうです。出会った頃の印象を聞いてみると、「年が一番近かったこともあり、親しみやすかったです」と葉子さん。猛さんは、「今もそうだけど、かわいい子だなーと思った」と照れながら話してくれました。休みが同じだったので、冬にはよく自然観までスノーボードをしに行っていたそうです。

周りの友だちが次々に結婚していくのを見て、「自分たちもそろそろかな」と、付き合い始めて2年後にゴールイン。

「子どもは2人はほしい。兄弟げんかかもしれないとね」と猛さん。そして、「お互いに3人兄弟なので、子どもは多い方がいいです。周りに同級生がたくさんできると楽しいですね」と笑顔で話す葉子さん。お腹には新しい生命が。

「楽しい家庭にしたい。そして、みんなが健康であればそれでいい」と素敵な笑顔で話してくれたお二人。きっと、新しい家族と共に楽しい家庭を築いていかれることでしょう。

その他の新刊

- ▼逃げ出した死体—伊集院大介と少年探偵— (栗本 薫) ▼暗黒の宿 (西村賢太)
- ▼エスケイプ/アブセント (絲山秋子)
- ▼熱血ポンちゃん膝栗毛 (山田詠美)
- ▼鬼仙 (南條竹則) ▼2007年団塊定年！日本はこう変わる (原田 泰) ▼処刑御使 (荒山 徹) ▼東山殿御庭 (朝松 健)
- ▼還らざる道 (内田康夫) ▼奸婦にあらず (諸田玲子) ▼華の館 (西村京太郎)
- ▼ご隠居忍法亡者の鐘 (高橋義夫)
- ▼通天閣 (西加奈子) ▼終わらない旅 (小田 実) ▼家のロマンス (加藤幸子)
- ▼夢からの手紙 (辻原 登) ▼雷神の筒 (山本兼一) ▼みいつけた (畠中 恵)
- ▼まいにち薔薇いろ田辺聖子A to Z (田辺聖子) ▼オカン、おふくろ、お母さん (文藝春秋編) ▼おしゃれに女 (内館牧子) ▼回り灯籠 (吉村 昭) ほか

新井 満 日本語詩
千の風になって—ちひろの空—
み入るエッセイも収録。

◎郷土出版コーナー—
詩集 埋葬虜囚一六三号
からの手紙

阿部 宗一郎 著

寂聴さんがゆく—瀬戸内寂聴の世界—
瀬戸内 寂聴 著



いわさきちひろ 絵

大切な人を亡くしたとき。悲しみをこえて生きる勇気を与えてくれる「いのちの詩」に、いわさきちひろの絵がつきました。頁をめくると、風は宇宙ではなく、すぐそばを吹いていることに気がつきます。



町立図書館おすすめ 今月話題の本

みなさんからのおたよりでつくるコーナーです。

町に対する意見や要望、提案みなさんの周りでの出来事や話題、日頃感じていること、イラスト、質問などお待ちしております。

■あて先／〒990-1442 朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場 政策推進課 地域情報係
(電話：67-2112 ファックス：67-2117)

■Eメール／inform@town.asahi.yamagata.jp

■URL／http://www.town.asahi.yamagata.jp

■携帯サイト／http://www.town.asahi.yamagata.jp/keitai



身分を証明できる 住基カードって何？

問

先日、東京に住んでいる息子にATMから現金を振り込もうとしたところ、10万円を超える現金を振り込む際には、本人確認のための身分証明書が必要になったとのことでした。顔写真のある運転免許証などがあればということでしたが、あいにく運転しない私にとって、その場で身分を証明できるものを持ち合わせていませんでした。こんなとき利用できるものに、住基カードがあるということを知ったのですが、これってどういうものなのでしょうか。

答

平成14年8月、住民基本台帳ネットワークシステムが導入されました。このシステムの中で利用できるのが、住基カード（住民基本台帳カード）です。

住基カードは高度な安全確保機能をもつICカードで、4月から山形県全域で稼動する電子申請に利用できるなど、様々な行政サービスに利用で

きます。また、顔写真付のカードは、公的な身分証明書としても利用できます。

ご質問の中にもありましたとおり今年1月から、金融機関などの窓口で10万円を超える現金を振り込むには、公的な身分証明書が必要になるなど、これからは、顔写真付の身分証明書が必要になる場面が増えてきます。特に運転免許証がない方は、住基カードを持っていくと便利です。

【顔写真付き住基カードを身分証明書として利用できる例】
◆金融機関の窓口で10万円を超える振込みをするとき
◆銀行などで口座を開設するとき

◆パスポートの申請のとき
◆書留郵便の受け取りのとき
◆携帯電話の新規購入のとき
住基カードの申請には、運転免許証、保険証などをご持参のうえ、必ず本人が申請ください。発行までに1週間程度かかり、手数料は500円です。詳しくは係までお問い合わせください。

問

税務町民課 戸籍年金係

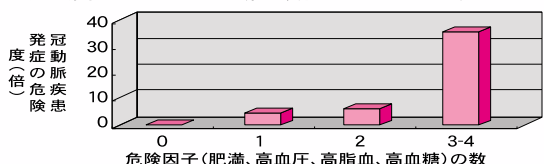
☎ 67-21119

きょうの健康 あしたの健康

最近、「メタボリックシンドローム」が、本やテレビ等でよく話題になります。関心をもってご覧になっている方が多いのではないのでしょうか。

「メタボリックシンドローム」とは、ウエスト回りが太くなる（男性85センチ、女性90センチ以上）りんご型肥満の人が、軽度でも「高血圧」「高脂血」「糖尿病」などの生活習慣病を2つ以上持っている状態を言います。自覚症状はありませんが、動脈硬化を急激に悪化させ、心臓病や脳卒中など死亡に至る恐ろしい病気を招きやすくなります。危険因子の数が多くなると、動脈硬化のリスクが高くなるので要注意！

危険因子が重なるほど、動脈硬化のリスクは36倍に！



メタボリックシンドローム解消は、生活習慣の改善から

メタボリックシンドロームを予防・解消するためには、生活を改善し肥満（内臓脂肪蓄積型）を解消することが大切です。

◎正しい食生活

脂肪や糖分の取り過ぎは肥満の大敵。腹八分目を心がけましょう。アルコールの飲み過ぎにも注意しましょう。

◎定期的な運動習慣

ウォーキングや水中運動等の有酸素運動を、週2回以上30分程度やってみましょう。でも無理は禁物。自分のペースでやってみることが長続きさせる秘訣です。

◎定期健診受診

毎年の健診で、自分の健康状態をチェックしましょう。





■平成18年(2006年)
12月1日~12月31日届出
■平成19年(2007年)
1月1日~1月31日届出



すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
H18 大谷六志	藤 桃	女	敏 明・まゆみ
栗木沢遠	藤 新	男	宏 憲・ひとみ
大谷三阿	部 色	女	貞 元・高 美
H18 本 町 安	達 優	女	善 裕・知 子
H19 新 宿 佐	藤 翔	男	利 行・弥 生
太郎二 鈴	木 太	女	千 博・美穂子



おしあわせに

H18 白 田 淳	一	幾世橋 裕子
(大谷三)		(福島県)
H19 峯 田 飛雄馬		伊 藤 惠
(緑 町)		(大江町)



やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
H18 元 町	渡 邊 正 巳	孝 二
宇 津 野	村 山 み よ	喜 平 治
八 ツ 沼	鈴 木 い つ の	好 一 男
小 原 宿	菅 井 イ チ 子	健 男 浩
大 町	成 今 井 美 代	隆 光 吉
下 芦 沢	大 今 滝 權 太 郎	賢 本 政 隆
ふ れ あ い 庄	大 今 野 長 良	賢 本 政 隆
H18 小 原 一	佐 藤 藤 谷	大 啓 郎
H19 宿	佐 藤 ち の	敏 行 史 子
本 町	渡 邊 惟 子	英 榮 子 利 人
中 沢	五 十 嵐 辰 雄	成 秋 正 信 本
栄 町	成 原 ト ス ヨ	
沼 向	菅 井 利 太 郎	
太 郎 二	長 岡 千 代 美	
ふ れ あ い 庄	板 坂 千 秋	



いつも賑わうよちよちクラブ

問 子育て支援事業の「よちよちクラブ」が、月1回から月8~9回に増えて嬉しく思っています。

知り合いがいらない町にお嫁に来て、子どもを通してママにも友だちができ、子どもが生まれる前以上に、この町で過ごす時間が楽しくなりました。同じくらいの子どもたちと遊んでいる姿を見るのがとても楽しみだし、指導してくれる先生や他のママたちと話をするのも楽しく、勉強になります。"よちよち"が月8~9回もあると、子どもをもう一人、二人、三人と、たくさん生んでも大丈夫かなと思ってしまうようになりました。育児について、先生にも気

【匿名】 子育て世代を支援する目的で4年前に始まったよちよちクラブ。利用者者の要望にお応えし、今年度から実施回数を増

平成18年度山形県市町村広報コンクール 広報あさひまち600号記念特大号 広報紙の部(町村部)で特選に

特集「朝日町の元気印」は、町広報委員会(清野則昭委員長)自らが立ち上げた初めての企画。「紹介されている人たちの活躍する分野や立場がバラエティにあふれ、町の力強く元気な様子が伝わってくる」という理由での特選受賞です。



【子育て支援センター】 入り口が危険なのでは?と

入りが危険なのでは?というご指摘については、再度現場を確認させていただき、安全第一を主眼に置き対応していきたいと考えています。

人口と世帯数

●平成18年12月31日現在
人口 8,638人(増1人)
男 4,279人(±0)
女 4,359人(増1人)
世帯数 2,545戸(±0)
()内 前月比

●平成19年1月31日現在
人口 8,634人(減4人)
男 4,276人(減3人)
女 4,358人(減1人)
世帯数 2,548戸(増3戸)
()内 前月比

朝日町フォトコンテスト

この町には「自然」「歴史・文化」「人」など、ふるさを感じさせる宝物のような風景が数多く残っています。昭和29年11月に合併し2004年11月に50周年を迎えた朝日町。これを記念し「今残したいふるさとの宝」をテーマに募集したもののなかから、選りすぐりの作品を紹介します。

佳作「炸裂」



体調を崩し運動ができなくなった時、当時写真を撮っていたとこから勧められたのがきっかけで撮影を始めました。それから約15年。人物よりも自然を被写体にする事が多いです。

この写真は、大雨の次の日の朝に上郷ダムの様子を撮影したものです。想像を絶する光景に息をのみました。張り裂けんばかりの水しぶきとその濁色。そして、恐怖心にも駆られる炸裂音。中に吸い込まれそうな感覚に陥ります。町民の方でもあまり見たことがない上郷ダムの姿かもしれません。その上空、至近距離を飛んでいる野鳥と比較すれば、迫り来る水しぶきのスケールの大きさがお分かりいただけるのではないのでしょうか。

撮影者 遠藤俊晴さん(栗木沢)

春夏秋冬

編集後記

▽平成18年度山形県市町村広報コンクールに出品した『村部門広報紙の部で特選を受賞しました。初刊から600号目となる記念すべき紙面であるとともに、企画の段階から取材、執筆、写真撮影、レイアウト（紙面構成）に至るまで、町の広報委員17人が一丸となって仕上げた特集記事だったが故に感慨無量、喜びもひとしおです。

▽時計の針が次の日を示し、

目がシヨボシヨボになるまで作業した班もありました。その分、紙面が完成した時の達成感や充実感は、何にも増して大きかったはずで、それにおまけも付いたことで、広報委員にとって、特に思い入れのある紙面となったことに違いありません。

▽取材に快く応えていただいた皆様にも、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

ランタンが優しく灯る

笑顔の瞳

(はやけん)

